

登録コード	HM127200	開講年度	2026				
授業題目	医学情報教育学特論				担当教員	北口 良晃 他	
英文授業名	Medical Informatics				副担当		
単位数	2	講義期間	不定期	曜日・時限	集中・不定期	対象学生	1 年次
講義室			授業形態	講義	備考		
信大コンピテンシー	非該当						
(1)授業の達成目標/Course objectives	ディプロマポリシー・授業で得られる「学位授与の方針」要素				(授業の達成目標)		
	2026HM医学分野加, 2025HM医学分野加, 2024HM医学分野加, 2023HM医学分野加						
	【専攻】医学または保健学の研究に対する世界標準の専門分野における深い知識・卓越した技能				・医学情報教育における多様性を理解し、問題解決の方法を習得できるようになる。		
(2)詳細 /Detailed information	医学において必要とされる系統的かつ実践的な情報学に関する教育方法を学ぶ。高度情報化社会において情報の重要性は増す一方である。本授業「医学情報教育学特論」では情報の多様性、不確実性に力点をおき、問題解決に重要な情報収集の方法を習得する術を学ぶことを目指す。						
(3)授業の概要 /Overview of course	1．医学情報の取得方法 2．医学情報の多様性、不確実性 3．サイエンスではない医学情報の限界 本授業は男女共同参画に関する内容も含んでいます。						
(4)授業計画 /Course plan	1．医学情報の取得方法について 2．医学情報の多様性、不確実性について 3．医学情報はサイエンスではない について集中的に講義を行います。詳細については受講生にメールやeALPSで連絡します。						
(5)成績評価の方法・基準 /Grading/evaluation method/evaluation criteria	全ての授業終了後には、授業の内容に関連したレポートの課題を与える。 レポートの評価は以下の通りである。 (i) 問題の設定が適切であり、(ii) その問題の背景を説明できており、(iii) その問題にどのような課題があるのかを指摘できており、(iv) それらの課題に対して既存の学説が提示する解決法が適切に把握できており、(v) その上で自分の見解を提示できており、かつ、教員を感心させるレベルにあれば「卓越している（秀）」。(i) から (v)の5項目を満たしていれば「かなり上にある（優）」。4項目までできていれば「やや上にある（良）」。3項目までできていれば「水準にある(可)」。						
(6)履修上の注意・事前事後学習の内容・テキスト・教材・参考書/Notes/Prep and review work/Textbook(s)/Reference work(s)	メールやeALPSを用いて履修に関する連絡を行いますので必ず確認してください。						
(7)質問,相談への対応/Questions and requests for advice	随時質問を受け付ける。 メールにて連絡のうえ、居室まで。 居室は附属病院医療情報部。 メールアドレスはkitaguti(\$)shinshu-u.ac.jp 但し、(\$) は @ に置き換えて下さい。						
(8)授業の形式 /Course format	スライドや配布資料を用いる。講義終了後は知識の習得のため、十分に復習すること。						